

**防災とやま**  
BOUSAI TOYAMA  
**いつも、もしもを  
考えよう、備えよう**  
富山県で起こりうる災害に備え、普段から  
ご家庭で取り組むことができる防災対策を  
パネルや防災グッズなどで紹介します。

**1 富山県の主な災害**


**水の王国とやま**

水の王国とやま

水の王国とやま





# 護天涯への想い

—富山平野を守る常願寺川の砂防事業—



立山カルデラの陥没、富山と愛媛の急峻な地形は「護天涯（天崖を護る）」と刻まれた歴史があります。「天崖」とは「天の崖で、雷が落ちて落ちたところ」という意味です。富山平野の土砂災害を深刻な被害の地。立山カルデラを擁する富山県。先人の知恵と技術が、この土壌を守り続けています。この地は、大正4（1915）年2月、第14次富山地震をきっかけに、富山平野の土砂災害の被害が深刻化し、富山県民の生命と財産に大きな被害をもたらしました。この被害は、富山県民の生命と財産に大きな被害をもたらしました。この被害は、富山県民の生命と財産に大きな被害をもたらしました。



## 安政5(1858)年 安政の大災害



安政の大災害は、富山平野を襲った大規模な洪水災害です。この災害は、富山県民の生命と財産に大きな被害をもたらしました。この災害は、富山県民の生命と財産に大きな被害をもたらしました。この災害は、富山県民の生命と財産に大きな被害をもたらしました。



安政の大災害は、富山平野を襲った大規模な洪水災害です。この災害は、富山県民の生命と財産に大きな被害をもたらしました。この災害は、富山県民の生命と財産に大きな被害をもたらしました。この災害は、富山県民の生命と財産に大きな被害をもたらしました。

## 明治16(1883)年 富山県の誕生



富山県は、明治16（1883）年に誕生しました。この県は、富山平野を擁する重要な地域です。この県は、富山平野を擁する重要な地域です。この県は、富山平野を擁する重要な地域です。



## 明治24(1891)年 大水害と常願寺川治水



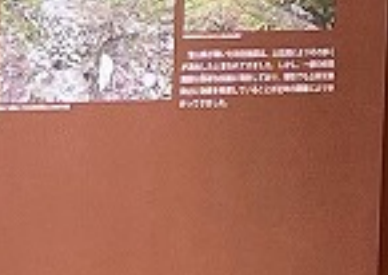
明治24（1891）年の大水害は、富山平野を襲った大規模な洪水災害です。この災害は、富山県民の生命と財産に大きな被害をもたらしました。この災害は、富山県民の生命と財産に大きな被害をもたらしました。この災害は、富山県民の生命と財産に大きな被害をもたらしました。



## 明治39(1906)年 富山県がはじめた立山砂防



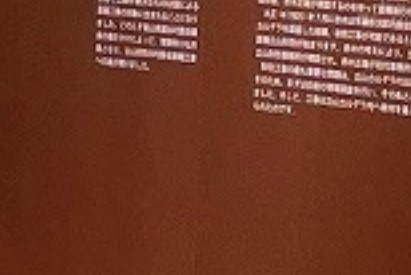
明治39（1906）年、富山県が初めて立山砂防を開始しました。この砂防は、富山平野を守る重要な施設です。この砂防は、富山平野を守る重要な施設です。この砂防は、富山平野を守る重要な施設です。



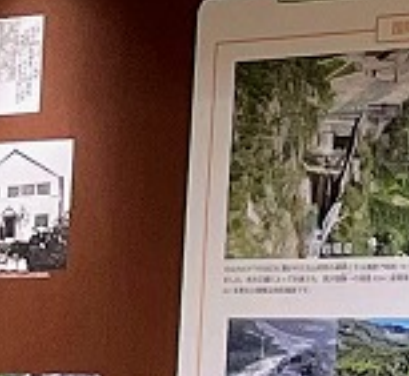
## 大正13(1924)年 砂防法改正



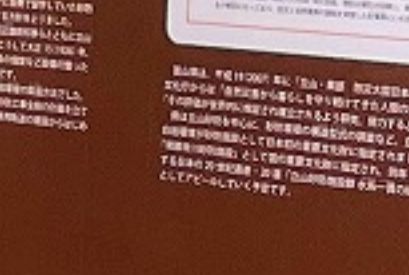
大正13（1924）年、砂防法が改正されました。この改正は、富山平野を守る重要な施設です。この改正は、富山平野を守る重要な施設です。この改正は、富山平野を守る重要な施設です。



## 大正15(1926)年 国による立山砂防開始



大正15（1926）年、国による立山砂防が開始されました。この砂防は、富山平野を守る重要な施設です。この砂防は、富山平野を守る重要な施設です。この砂防は、富山平野を守る重要な施設です。



# 世界遺産に向けて

—砂防施設を文化遺産に—



富山県は、世界遺産に登録された砂防施設を文化遺産として保護しています。この砂防は、富山平野を守る重要な施設です。この砂防は、富山平野を守る重要な施設です。この砂防は、富山平野を守る重要な施設です。



明治24年8月

立山カルデラ崩壊地を視察

立山カルデラ  
噴火の歴史



噴火の歴史  
立山カルデラ

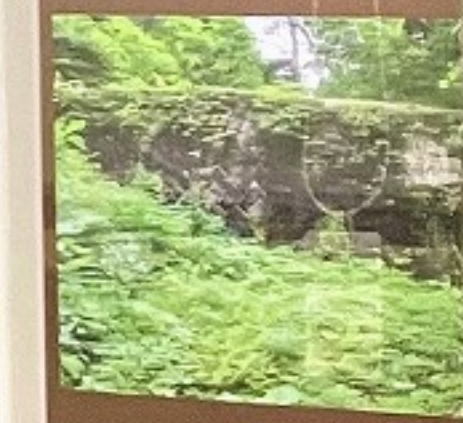


立山カルデラ  
噴火の歴史

立山カルデラ  
噴火の歴史



立山カルデラ  
噴火の歴史



立山カルデラ  
噴火の歴史

立山カルデラ  
噴火の歴史

立山カルデラ  
噴火の歴史

立山カルデラ  
噴火の歴史

立山カルデラ  
噴火の歴史

立山カルデラ  
噴火の歴史

立山カルデラ  
噴火の歴史

立山カルデラ  
噴火の歴史